

市民活動・ボランティア

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

2008年 2月号
平成20年1月25日発行
通巻110号

◆発行◆
514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
NPO室のホームページ
<http://www1.mienpo.net/npot>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>
市民活動・ボランティアニュースは
こちらにあります!

【地域の市民活動センター等】
●津市●みえ市民活動ボランティアセンター／津市市民活動センター／
分部食堂／(有)デザインオフィス萩野 ●桑名市●桑名市市民活動支援センター ●四日市市●四日市市市民活動センター／寺子屋プロジェクト／みえチャレンジプラザ
●亀山市●亀山市市民協働センター ●鈴鹿市●市民ネットワークすずかのぶどう ●松阪市●三重中央大学／松阪市市民活動センター
●伊勢市●特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会／いせ市民活動センター ●鳥羽市●鳥羽NPOネットワークセンター・結
●名張市●名張市立図書館／名張青年会議所／皇学館大学名張キャンパス／名張市総合福祉センター／エコリソト赤目の森／名張市市民活動支援センター／くらしの情報センター同夢 ●伊賀市●ウィリアム・テルズアップル まちづくりセンター／伊賀市中央公民館／伊賀市立図書館／上野青年会議所／伊賀市市民活動支援センター ●明和町●めいわ市民活動サポートセンター ●南伊勢町●南伊勢町民文化会館 ●紀宝町●紀宝町ボランティア市民活動センター
【地域の社会福祉協議会】県内の市町村社会福祉協議会
【金融機関・企業等】百五銀行各店／三重銀行各店／東海労働金庫各店／第三銀行各店／メディカル光各調剤薬局
【行政機関等】三重県庁県民ホール／三重県地域機関(各県民センター)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)／三重県柴町庁舎(情報公開窓口)／三重県総合医療センター／三重県立一志病院／三重県立志摩病院／三重県立こころの医療センター／齋宮歴史博物館／三重県立博物館／三重県立図書館／三重県生涯学習センター／三重県男女共同参画センター『フレンドみえ』／三重県人権センター／三重県身体障害者総合福祉センター／三重県環境学習情報センター／各市町役場

熊野古道のお客さんを、天満浦百人会がもてなします

尾鷲市のNPO法人天満浦百人会(北村恵史理事長)が、いまとっても元気です。その最近の取り組みについてご報告します。 東紀州観光まちづくり公社



会員は北村理事長を含め現在28名。名前のおり「百人会」を目指して仲間を募集しています。

天満浦百人会が活動している尾鷲市の天満浦は、南に尾鷲湾を望む風光明媚な地区です。特産の甘夏みかんなど豊かな地域資源を有するこの地区も、近年は過疎化・高齢化が進んでいます。そこで、平成12年、地元有志により地域の活性化を目指して同会が発足し、19年5月には法人認証を受けました。



上/1月13日の天満荘リニューアルオープン試食会の様子です。庭園からは尾鷲湾の絶景が見下ろせます。下/試食会のメニューは、70年前の天満浦での婚礼料理を再現したもののごとくでした。

活動の内容としては、天満浦地区での、初日の出を見る会、ひな祭り会、観月会といったイベントの実施、区内を通る熊野古道猪ノ鼻峠道(水平道)の活用・PRなどのほか、平成19年4月からは、県立熊野古道センターに隣接してオープンした古民家レストラン「夢古道おわせ」において、お母さん達を中心となって地産地消ランチを提供し、好評を博しています。

さらに今年からは、遊休保養施設である古い木造家屋の「天満荘」をレストランにリニューアルして、食をテーマにした集客拠点づくりにも乗り出しています。

みなさまぜひ天満浦を訪れてみてください。
●問い合わせ先/Tel.0597-22-0768(代表:北村)

はじめての1歩

これから市民活動・ボランティア活動を始めたという方、始めたばかりという方の疑問などにお答えします。

多発する豪雨災害と災害ボランティア

先日、多くの災害現場で活躍してきたNPO法人レスキューストックヤードの栗田暢之さんの講演を聞く機会がありました。1995年の阪神淡路大震災以降の災害ボランティアの活躍に改めて感動するとともに、少し気になる話もありました。
ここ30年で、明らかに一時間に50ミリ以上の豪雨(バケツをひっくり返したような雨)が増えていて、地球温暖化の影響からなのか、豪雨災害の危険が高まっているのではないかとのことでした。
県内でも東海地震や東南海地震への対策はもちろんのこと、2004年のような豪雨災害への備えとして、災害ボランティアはますます重要になってきているのだと改めて感じました。 三重県生活部NPO室 堀木俊哉

SPコード
右にある図形は「SPコード」と呼ばれる二次元コードです。視覚に障害を持つ方が「スピーチオ」と呼ばれる専用の読取機を使用することで、ここに記録されている情報を音声で聞くことができます。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。



9月号でお知らせしていました三重県社会福祉協議会主催「みえシニアセミナー」(県委託事業)が先月修了しました。県内3会場(松阪、津、四日市)、80名の方々が講習と実習合わせて48時間のカリキュラムを終えられ、いよいよ活動を開始されます。

先日、その活動開始にあたり『「シニアセミナー」修了者の集い』が開催され、「ボランティアセンターについて」のお話しをしてきました。今回参加されたのは津会場を受講された方々が対象でしたので、津市内にありますボランティア活動、市民活動を支援するところのお話をしたのですが、やはり、具体的な活動方法や施設利用の仕方への関心が高く、活動開始にあたってのボランティア保険についてや、会議をする場合に借りることができるスペース、また貸し出し可能な備品の話などの質問をいくつかいただきました。

こうした質問には、この先、どんな活動をしていきたいと思ってみえるのかがこちらに伝わってきますし、また、具体的な活動内容はまだ定まっていなくても「そういった利用の方法があるならば…」と今後の活動に思いをめぐらせていただいた方もみえ、とても頼もしく感じました。

そして、これから活動を始められていくとき「どうして、なぜこうなっているの?」といったご質問をいただくことが増えてくるのではないかと考えています。実はこの「どうして?なぜ?」はとても新鮮な意見であることが多々あります。その中から改善すべき点を見つけ出し、よりよい支援方法を作り上げていくことが私達の使命でもあります。

というわけで、シニアセミナーの修了生の皆さんはもちろん、今まで何度となく各ボランティアセンター・市民活動センターなどをご利用されている皆さん、是非「仕方がないね」で終わらせずに「なぜ?どうして?」を私達スタッフに投げかけてください。そして、その解決にお力をお貸しください!

みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は5団体ありました。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室に備え置いてあります。

●認証申請団体

- (1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
- 【1】(1)桑名活性化(2)大嶋啓介(3)東員町大字瀬古泉558番地1
 - 【2】(1)みえ防災市民会議(2)山本康史(3)伊勢市竹ヶ鼻町170番地1
 - 【3】(1)松阪第一生活ホーム(2)波江野あき子(3)松阪市西之庄6番地
 - 【4】(1)えくぼキッズ(2)藤原康近(3)鳥羽市鳥羽1丁目20番5号
 - 【5】(1)流域環境保全ネットワーク(2)北村淳一(3)松阪市中万町1281番地(平成19年12月10日~平成20年1月9日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 環境評価研究機構(平成19年10月1日)
- After School 夢(平成19年12月11日)
- 夢工房(平成19年12月26日)
- (平成19年12月10日~平成20年1月9日届出分)

イベントスケジュール

平成19年度 災害時外国人住民支援事業 第2回研修会

●とき・ところ/2月2日(土)10:30~17:00

みえ県民交流センターミーティングルームA、B

(アスト津3階 Tel.059-222-5995)

2月3日(日)9:30~16:00 四日市市総合会館第1研修室
(四日市市諏訪町2-2 Tel.059-354-8292)

●内容/災害時、地域においてより多くの方に外国人住民のサポートをしていただけるようその必要性を理解し、地域でのサポートを考える機会として開催します。講師はNPO法人多文化共生センター東京の田中阿貴さん。基礎編として「地域における災害時の外国人支援」と題した講演を行ったあと、実践編として通訳&相談対応ワークショップを行います。対象は災害時の外国人支援活動に関心のある人や外国語と日本語でコミュニケーションできる人。言語や国籍は問いません。2会場とも研修内容は同じです。

●申込・問い合わせ先/(財)三重県国際交流財団(担当:筒井、平野) Tel.059-223-5006 Fax.059-223-5007

E-mail mief@mief.or.jp

ホームページ <http://www.mief.or.jp>



三重県立熊野古道センター 開館1周年記念イベント

【オープニングイベント】

シンポジウム「サンティアゴ巡礼路と熊野古道
〜もう一つの「世界遺産の道」に学ぶ〜」

●とき/2月9日(土)14:00~16:30

●ところ/熊野古道センター 交流ロビー 大ホール

●内容/フランスからスペインに至る世界遺産の道「サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路」の魅力を通じて、熊野古道の価値を再発見するシンポジウムを開催します。コーディネーターは、NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク理事の川端 守さん。パネリストは、彫刻家の池田宗弘さんと、スペイン在住の山下絢子さん。

【メインイベント】

世界遺産子ども大使フォーラム in 熊野古道センター

●とき/2月10日(日)9:00~18:00

●ところ/熊野古道センター及び熊野古道「馬越峠」

●内容.日本各地の世界遺産登録地6カ所(日光の社寺、知床、白神山、白川郷・五箇山の合掌造り集落、屋久島、紀伊山地の霊場と参詣道)から小中学生を招き、知事と馬越峠を歩いてもらうとともに、「世界遺産をどう子どもたちに伝えていくか」について考えるフォーラムです。午前中は馬越峠ウォーク。13:00からは知事から世界遺産子ども大使へのメッセージ、世界遺産子ども大使報告会、シンポジウム「世界遺産を子どもたちにどう伝えるか」を開催。シンポジウムのコーディネーターは筑波大学教授、同大学院世界文化遺産学専攻長の日高健一郎さん。パネリストは世界遺産子ども大使と熊野古道センター長の花尻 薫さんです。

●募集人数/両日とも、100人程度

●申込方法/参加費無料。ただし、要事前申込み。熊野古道センターへ電話または直接カウンターにて受付。

●問い合わせ先/519-3625 尾鷲市大字向井字村島12-4
三重県立熊野古道センター Tel.0597-25-2666

●主催/三重県立熊野古道センター指定管理者・NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク、三重県、三重県教育委員会

景観シンポジウム

「亀山発〜これからの地域の景観づくりに向けて」

●とき/2月9日(土)受付12:30 13:00~16:30

●ところ/亀山市文化会館(中央コミュニティセンター多目的ホール 亀山市東御幸町63番地)

●内容/三重県は、伊勢平野から眺望する美しい山並み、伊勢湾

から熊野灘にかけての変化に富んだ海岸線、川がつくり出す美しい渓谷などの豊かな自然や、伊勢神宮、熊野古道や亀山、関、坂下に残る宿場町など街道筋に残された情緒あるまち並みなどの数多くの歴史・文化的資産に恵まれています。しかし、普段、あたり前のように見ているこの景観も、社会経済の変化によって徐々に美しさが失われたり、またその逆に新たな景観が生み出されることもあります。景観づくりは、地域の魅力や価値を高め、文化力の向上につながります。この美しいみえの景観を次の世代へ継承していくために、みんなでできることを考えましょう。当日は京都大学大学院工学研究科 准教授 神吉 紀世子さんによる講演「次世代につながる景観まちづくり」のほか、パネルディスカッション、景観まちづくり活動紹介を行います。

- 募集人数/200人(応募多数の場合は抽選)
- 応募締切/1月31日(木)
- 申込方法/参加申込書を下記か、県ホームページよりダウンロードし、必要事項を記入後、郵送、Fax、E-mailで下記まで。
- 問い合わせ先/県土整備部景観まちづくり室(事務担当:尾上)
Tel.059-224-2748 Fax.059-224-3161
ホームページ <http://www.pref.mie.jp/KEIMACHI/HP/>

つどい、つながり、そして未来へII ～身の丈に合ったまちをみんなでつくろう～

- とき/2月9日(土)13:30～16:30
- ところ/鈴鹿市文化会館さつきプラザ
- 参加費/無料
- 内容/鈴鹿市の市民活動・ボランティア活動が一堂に“つどい”交流し、活動がますます活発になることを目指しています。「市民にできること、行政とともにできること」をテーマとした団体活動発表・テーブルトークのほか、四日市大学総合政策学部准教授の小林慶太郎さんによる講演「市民が主役の地域づくり」を行います。
- 問い合わせ先/NPO法人市民ネットワークすずかのぶどう
Tel.&Fax.059-387-0767
E-mail budou@mecha.ne.jp

「農」のある暮らしの中で

- とき/2月11日(祝・月)14:00～16:00
- ところ/アスト津3階 みえ市民活動ボランティアセンター交流スペース
- 参加費/300円(お茶・お菓子付き)
- 内容/ゲストの豊田栄美子さんは、農業とは無縁の世界から農家に嫁ぎ、農業・農村のおもしろみと重要性を実感するようになりました。土にふれたことのない人々を対象に、大豆をまき育てて、収穫し、味噌づくりを楽しむなど、Agriロマン三重会長として変化に富む暮らしを実践する中からのお話をうかがいます。
- 申込方法/下記まで来訪、電話、Fax、E-mailで事前申込み。
- 問い合わせ先/みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971
E-mail center@mienpo.net
ホームページ <http://www.mienpo.net/center/>

高齢者が主役となる“仕掛けづくり” ～シニアプロジェクト～

- とき/2月16日(土)13:30～15:30
- ところ/明和町中央公民館2階 中会議室(多気郡明和町馬之上)
- 参加費/無料
- 内容/元気なシニア世代をサポートするプロジェクトの話を通じて、高齢者が主役となる“仕掛けづくり”についてみなさんで考えてみませんか?講師は名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授

の牧野 篤さんです。

- 募集人数/先着50人
- 申込方法/電話、Fax、ハガキ、E-mail、ホームページ、センター窓口にて。
- 申込・問い合わせ先/514-0061 津市一身田上津部田1234 三重県生涯学習センター Tel.059-233-1150 Fax.059-233-1155
E-mail manabi-kouza@center-mie.or.jp
ホームページ <http://www.center-mie.or.jp/manabi/>

世界の歌声&レストラン



- とき/2月17日(日)受付12:30 13:00～
- ところ/ポルタひさい3階 多目的研修室ほか
- 参加費/大人1000円、小学生以下500円(協会会員半額)
- 内容/第1部で後藤むつみさんの素敵な歌声を堪能した後は、第2部ワールドレストランで世界の味を楽しんで、第3部ではみんなで楽しく、世界の歌を歌いましょう。
- 募集人数/先着200人
- 応募締切/1月31日(木)
- 申込方法/Fax、E-mail、ハガキのいずれかに、住所、氏名、電話(Fax)、E-mailを記入し下記へ。
- 問い合わせ先/514-1135 津市久居本町1346-7 ひさい国際交流協会 Tel.059-256-5191 Fax.059-256-5122 E-mail kazenomachi-hisai@dune.ocn.ne.jp

早春のドイツ料理教室



- とき/2月17日(日)13:30～15:30
- ところ/アスト津5階「食工房」(津市羽所町700番地 Tel.059-222-2525)
- 参加費/材料費の実費 ●応募締切/2月14日(木)
- 内容/三重日独協会会員の千島里美さん(ドイツ在住6年の経験をお持ちの方です)を講師に迎えて、次の献立でドイツ料理を学びます。メニューはソーセージ入り野菜スープ、豚肉ロールとパセリライス、ブロッコリーとにんじんのグラッセ、焼きカマンベール。
- 持ち物/エプロン、台布巾、皿布巾
- 問い合わせ先/向井明子 Tel.059-232-0594
E-mail mukai@ztv.ne.jp
- 主催/三重日独協会

第3回「川のワークショップみえ」

- とき/2月17日(日)9:00～17:00
- ところ/三重県庁 講堂 ●参加費/無料
- 内容/「川のワークショップみえ」は、水辺や山川海に関する活動をしている方々が、その内容を発表し、お互いを教え合うことにより、さらなる活動の発展や連携のきっかけにしておうとするものです。当日は25団体の活動発表と全体ディスカッションを開催します。ぜひ、皆さんもこのワークショップに参加され、さまざまな団体・個人との交流を通して、新たな活動のヒント、目指す将来の目標の再確認を試みませんか。
- 問い合わせ先/川づくり会議みえ(事務局:久世) Tel.090-5637-0727 E-mail kuze2@bronze.ocn.ne.jp
- 主催/第3回「川のワークショップみえ」実行委員会(実行委員長:朴恵淑)



- 平成19年度三重県文化振興基金活用事業
おれおれ詐欺・振り込め詐欺にはご用心
「しがらみの向こうに」
～振り込め詐欺集団の男たち～の公演
- とき/2月22日(金)開場18:00 開演18:30

- ところ／四日市市文化会館 第2ホール
- 参加費／前売2500円 当日3000円
- 内容／1:振り込み詐欺の手口などを多くの人に知っていただき騙されないように注意を促すこと。2:若い人から高齢の方までに賢い消費者になっていただくための消費者教育の一助とすること。3:演劇という題材で社会に警鐘を与えることによる文化・芸術の振興という逆発想という目的で松本匠氏主宰の劇団RISU PRODUCEの公演を行います。作・演出・出演の松本匠氏は「The Winds Of God」の金太役で知られています。
- 申込・お問い合わせ先／(特)発意企画実現集団ドーナツ(担当:長尾) Tel.090-3445-0530 Fax.059-364-8181 E-mail medaka@do-nuts.org
- ホームページ <http://do-nuts.org/~shigarami/>

- ところ／名張産業振興センター・アスピア(名張市南町822-2)
- 内容／住民たちが地域の問題解決のために奮闘するNHK番組「難問解決!ご近所の底力」の司会者、堀尾正明さんの元気が出る講演会。番組での苦労や裏話などの楽しいお話と、名張市での市民活動についての紹介。
- 募集人数／先着280人
- 問い合わせ先／518-0441 名張市夏見2812 名張市勤労者福祉会館1階 名張市市民活動支援センター Tel.0595-63-5325 Fax.0595-63-5326

みえの文化カフォーラム みんなの熱意で“まち”にぎわいを

- とき／3月6日(木)18:00~20:00
- ところ／くわなメディアライヴ 桑名市多目的ホール(桑名市中央町三丁目79番地) ●参加費／無料
- 内容／県では、地域のさまざまな資源や特色を生かす「文化力」を政策のベースとして取り組んでいくこととしています。「日本一元気な商店街」と評される長崎県佐世保市させば四ヶ町商店街協同組合理事長の竹本慶三さんを講師に「文化力」の考え方を生かした「みんなの熱意で“まち”にぎわいを」再生する極意について考えます。
- 問い合わせ先／三重県政策部企画室 Tel.059-224-2025 E-mail kikakuk@pref.mie.jp



ボランティアまつり2008

- とき／2月24日(日)10:00~14:00
- ところ／尾鷲市福祉保健センター(全館使用)
- 内容／ボランティア活動団体による活動発表や展示、模擬店やバザー、体験コーナーなど「はじまる・つながる・ひろがる ボランティアの輪」をテーマに手作り感いっぱいボランティアまつりを開催。今回は松阪市の「ダイコン一座」による『天使のパン屋さん』の演劇もあります。多くのご来場をお待ちしております。
- 問い合わせ先／尾鷲市栄町5-5 尾鷲市社会福祉協議会 Tel.05997-22-3246 Fax.0597-22-3402



2007年度 第4回 日本笑い学会 みえユーモア支部笑例会

マジックと落語の楽しいひと時

- とき／2月24日(日)開場13:30 14:00~16:30
- ところ／アスト津3階 イベント情報コーナー
- 参加費／一般800円、学生200円、会員無料(事前申込不要)
- 内容／初心者マジック教室の後、笑いと落語の健康講座、手話で歌を表現する「手話で一曲」を行います。
- 持ち物／紙きり用のはさみ
- 問い合わせ先／支部事務局(担当:中村ふみ) Tel.059-232-6409 E-mail mkdbpxmta16nx5t6yjiq@docomo.ne.jp

平成19年度 農山漁村のつどい

ともに築く元気な地域、元気な農林漁業

- とき／2月26日(火)10:30~15:30 ●参加費／無料
- ところ／男女共同参画センターフレンテみえ 多目的ホール
- 内容／農山漁村のよさを活かした地域づくりを皆さんと共に考えます。NPO法人遠野山・里・暮らしのネットワーク 東北まちづくり実践塾代表の菊池新一さんの講演のほか、多気町・せいわの里「まめや」の北川静子さん、四日市市・製茶業、指導農業士の清水正美さんによる活動事例発表、食育創作劇「ケロちゃんが行く『知りたいなあ!』の旅」、農水産物・乳製品の即売会などを行います。
- 申込方法／氏名、住所、電話を明記し、Fax、ハガキ、またはE-mailで下記まで。
- 問い合わせ先／514-8570 津市広明町13番地 三重県農水商工部担い手室 農山漁村のつどい実行委員会事務局 Tel.059-224-2354 Fax.059-223-1120 E-mail ninaite@pref.mie.jp



NHK「難問解決・ご近所の底力」でおなじみの 堀尾正明さん講演会 「ご近所パワーで地域を変える」

- とき／3月2日(日)13:00~15:30

第4回 デュアスロンin美杉

- とき／3月16日(日)受付8:00
- ところ／レークサイド君ヶ野を起点とする津市美杉町広域
- 参加費／一般4000円 高校生2000円
- 内容／デュアスロンという形態のもと、美杉を知ってください。コースはラン1周(6.3km)~自転車1周(38km)~ラン1周(6.3km)。なお、大会を手伝ってくれるボランティアも募集中。中学生以上であれば参加可能です。ハガキにボランティア希望と書いて、申し込んでください。
- 応募締切／2月29日
- 募集人数／50人(定員になり次第、締切)
- 申込方法／参加申込書を郵送。参加料は郵便為替または現金書留で送付するか、下記へ持参。
- 申込・問い合わせ先／514-0004 津市栄町3-277 YADA CYCLE内 デュアスロンin美杉大会事務局 Tel.& Fax.059-226-2525 E-mail yada_cycle@ybb.ne.jp
- ホームページ http://www.geocities.jp/yada_cycle/

ネットワークのよびかけ

中間支援組織担当者ネットワーク交流会 ～顔の見えるつながりを作りませんか?～

中間支援、NPO支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合っ、意見交換する場です。隔月で協働をテーマに勉強会も開催。

東海ろうきんの NPO支援活動をご存じですか。

NPO活動にお役立て下さい。

- 寄付システム
- インターンシップ制度
- 創業助成
- 事業サポートローン ※審査等ご希望に添えない場合がございます。

お問合わせ・東海ろうきんインフォメーションセンター
ご相談は、☎0120-226616 窓口時間 平日9:00~17:00(土・日・祝日除く)
ホームページアドレス <http://tokairokin.or.jp>

いずれも無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。

【交流会】●とき／3月4日(火) 13:30～16:30

【協働勉強会】●とき／2月5日(火) 13:30～16:30

●問い合わせ先／W. T. Aまちづくりセンター

Tel.0595-24-7612



グループの創作品を募集します。

松阪市市民活動センターのラウンジスペースの一角を使って趣味の作品を展示できるスペースがリニューアルされます。グループで制作した絵画、写真パネルなどの芸術品の展示だけでなく、NPOや市民活動団体の活動成果の発表の場としてもご利用いただけます。展示は無料です。詳しくは下記までお問い合わせください。

●問い合わせ先／515-0084 松阪市日野町788カリヨンプラザ3階 松阪市市民活動センター(担当:井川)

Tel.0598-26-0108

青年国際交流事業参加青年募集

内閣府青年国際交流事業の参加青年を募集します。対象は日本国籍で県内在住の18歳から30歳の青年(平成20年4月1日現在)です。

募集事業は以下の通りです。

- (1) 海外交流派遣 (2) 日中青年親善交流 (3) 日韓青年親善交流 (4) 世界青年の船 (5) 東南アジア青年の船

●応募締切／3月21日(金)消印有効

●募集人数／各若干名

●問い合わせ先／生活部青少年・私学室

Tel.059-224-2404 E-mail seishi@pref.mie.jp

助成金 ニュース

第6回マイクロソフトNPO支援プログラム

●受付締切／2月12日(火) 24:00 必着

●助成の対象となる団体／1.日本国内に拠点を持ち、日本国内で活動する非営利団体。

2.応募時点で2年以上の活動実績を有する団体(法人格の有無・種類は不問)。

3.基本的なITの使用が可能であり、応募プロジェクトを実施可能なITスキルを持ったスタッフを有する団体。

●助成の対象となる活動／社会的課題をより効果的、効率的に解決するために、ITを活用した、斬新なプロジェクトを支援します。以下のテーマのうちいずれか、もしくはすべてに当てはまるプロジェクトを助成の対象とします。社会的課題のテーマ、団体の活動分野は問いません。

・ITを活用して「社会的課題の解決を目指す」活動

・ITを活用して「人々の可能性を最大限に引き出す」活動

●対象事業の期間／平成20年7月1日から平成21年6月30日までの1年間

●助成の額／1件あたり上限300万円、総額2,000万円

●応募方法／公式サイトより応募用紙をダウンロードし、E-mailに添付して送信。

●問い合わせ先／マイクロソフトNPO支援プログラム事務局

E-mail:msnpo6@jcie.or.jp

公式サイト:<http://www.microsoft.com/japan/npoc>

※問い合わせ、応募用紙の提出はE-mailのみ。

(社)全日本冠婚葬祭互助協会 第8回社会貢献基金

●受付締切／2月29日(金) 必着

●助成の対象となる団体／非営利組織(財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO法人、その他任意団体、市民ボランティアグループも対象)又は大学、研究機関(個人も可)で、今回募集する助成対象事業の趣旨に合致する事業を行おうとしている団体等。(個人資格による申請については、研究助成分野以外を対象外)

●助成の対象となる活動／(1)研究助成事業 テーマ「婚礼(結婚式)、葬儀(お葬式)など儀式文化の調査研究」。

(2)高齢者福祉事業 心身の機能が低下した高齢者などを対象に、一般的な在宅福祉対策で対応困難な分野や従来の施策等では十分福祉の推進が図られていない分野での支援活動。または、ニーズの高さ等地域の実情に照らし必要と認められる高齢者の自己実現・自己表現を図るための支援活動や福祉活動。

(3)障害者福祉事業 重複障害、難病に起因する障害を持った障害児・者を対象に、一般的な在宅福祉対策では対応困難な分野や従来の諸施策等では十分福祉の推進が図られていない分野での支援活動。

または、ニーズの高さ等地域の実情に照らし必要と認められる障害児・者の自己表現・自己実現を図るための支援活動や福祉活動。

(4)児童福祉事業 保護者等が死亡又は著しい後遺障害のため働けなくなった家庭の児童、引きこもり、不登校の児童を対象とした支援・慰問活動、その他児童の健全育成等に関するボランティア活動。

(5)環境・文化財保全事業 日本国内における植林、野生生物保護、公害防止等の活動、地域の住民の参加を経て行う文化財保護活動、リサイクル活動その他地域住民にとって重要な意義を有する実践活動。

(6)国際協力・交流事業 開発途上地域、紛争地、被災地における、医療活動、食料・物資援助、教材・学校建設など人材育成を目的とした国際協力・支援活動。国際交流を目的とする事業(懇親会・パーティー等は対象外)

●助成の額／総額およそ1000万円。1件当たりの助成額上限は200万円。但し、研究助成事業においては、上限100万円。

●応募方法／募集要項はホームページにて閲覧可。申請用紙をダウンロードして作成のこと。応募書類の提出は郵送にて。

●問い合わせ先／(社)全日本冠婚葬祭互助協会 社会貢献基金 運営事務局 105-0001 東京都港区虎ノ門3-6-2 第2秋山ビル7階

Tel.03-3433-4415 Fax.03-3435-0880

ホームページ <http://www.zengokyo.or.jp/>

第7回井植記念「アジア太平洋文化賞」

●受付締切／2月29日(金) 消印有効

●助成の対象／アジア太平洋地域における文化的・社会的な実践活動を通じて、国際交流や地域発展に顕著な貢献をした個人または団体。国籍や所在地は問いません。

●受賞者数と賞／受賞者数は1名または1団体。正賞および副賞500万円。

●応募方法／推薦書はホームページからダウンロード可。

●問い合わせ先／「アジア太平洋フォーラム・淡路会議」事務局

651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 国際健康開発センター2階 (財)兵庫県国際交流協会内 Tel.078-230-3090

Fax.078-230-3280 E-mail isd@net.hyogo-ip.or.jp

ホームページ <http://www.hyogo-ip.or.jp/awaji-conf/index.html>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資!

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(担当 松川)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重銀行

〈広告〉₅

株式会社から各種法人設立、許認可申請、契約書作成 NPO法人設立手順のサポート

事業報告書等提出書、各種変更届等の作成もお手伝いします。

法務 よいよ

0120-406-414 (フリーダイヤル)

奥島要人行政書士事務所(本町総合事務所LLC)
三重県津市本町14-18 第1奥山ビル202

〈広告〉

【今日特集】市民活動団体と企業をつなぐ!

第3回ボランティア団体・市民活動団体等交流会開催報告

MPドリーム助成金

「MPドリーム助成金」(主催:三重県遊技業福祉連合会)は、募集時期が夏、贈呈が12月、そして1月から半年間の実施期間となっていますが、「次回のMPドリームにこの企画を応募しよう」というヒソヒソ声年間を通して聞かれるほど、三重県の市民活動団体にはなじみ深く、また、頼りにされているようです。



贈呈式後の交流会

12月17日に開催された第5回助成金贈呈式では、セレモニー後に行われる交流会に過去最多の企業7社の参加を得て、ボランティア団体・市民活動団体26団体、総勢65

名が2時間ほど、6グループに分かれて互いの情報を交換し、交流しました。

市民活動団体のイチオシ、企業のピカイチ!

最初の名刺交換や自己紹介が終わると、「うちの団体の“イチオシ”自慢で盛り上がりよう」というテーマで、市民活動団体の方には「こんな思いを実現したくてやっている」というヴィジョンや「強み」、企業の方には、「こんな風に社会を支えています!」というアピールや「ピカイチ!」の特徴をそれぞれに語っていただきました。



異種交流で少し緊張?

互いに交流や連携のきっかけがないこと、「NPO、行政、企業の横の連携が大事」という意見もあり、NPOと他セクターとの意見交換や交流の場・方法など、システムの創設が望まれていることを感じました。

【中間支援】三重県の中間支援センターの目指すべきあり方研究会

8月に三重県の中間支援センターの目指すべきあり方の検討を始めた研究会も、1月8日で第6回を迎え、三重県の中核となる中間支援組織の担う役割が少しずつ形となってきました。

具体的には、市民活動を「ひろげる」ための相談・コンサルティング、資源の発掘。また、コーディネート、情報の受発信、拠点の運営、ネットワークの構築など、セクター間を「つなぐ」こと。そして、社会全体を「かえる」ための政策提言、調査研究といったことが、現在、県内で中間支援に関わる方々から意見提案されています。傍聴可能ですので、関心のある方はぜひお越しください。

《第7回研究会日程》

【日時】2月5日(火)午後1時30分から

【場所】みえ県民交流センター 交流スペース

問い合わせ: 三重県生活部NPO室
〒514-0009 三重県津市羽所町700番地 アスト津3階
TEL 059-222-5981 FAX 059-222-5971
E-mail: seiknpo@pref.mie.jp
URL: <http://www1.mienpo.net/npot/>

【隔月コラム】NPO室認証担当のNPO法人知っ得情報

《法人名として使えない文字》

“第1条 この法人は、特定非営利活動法人〇〇〇〇という。”

NPO法人を設立する場合、定款(団体の基本的なルールを定めたもの)の最初でこのように法人名を規定します。この〇〇〇〇の部分は設立メンバーで話し合っ、自由に決めてかまわないのですが、登記で使えない文字を使用している場合は見直していただいています。

よくあるのが、「」[カギかっこ]を使っている場合。つまり、特定非営利活動法人「〇〇〇〇」や特定非営利活動法人〇〇「〇〇」は登記できません。また、()【 】[かっこ]、。[句読点] ☆◎[符号]なども使えません。

以前は、ローマ字も認められてなかったもので、例えば、NPO としたくても、エヌピーオー と登記していました。このように制度が変わることもありますので、正確なことは法務局で相談してみてください。

その他、法人名に関しては、他の法律で使用を禁止されている言葉があります。たとえば、「特定非営利活動法人〇〇大学」「特定非営利活動法人〇〇銀行」などはダメです。

また、いくら思い入れが強くても、一見してどう読むのかなあと考えてしまうような名前はあまりいいとは感じません。ただ、一旦決めた名称も定款変更の手続きをすれば変更することは可能です。



担当の古川明郎です

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。行政と市民団体の間に立ち、互いの関係を取り持つコーディネーター役を数多く経験している川村透さんからご紹介いただいたのは津市の松本きりりさん。意外な分野へバトンが渡ったその理由は…?

「言葉」へのこだわり

……前回の川村さんから、思いがけない分野へバトンが渡りました。お二人はどこで知り合われたのですか？

川村さんとは平成13年に四日市市で開催された、第1回詩のボクシング三重大会で知り合いました。第1回の際は、私が三重代表の一人として全国大会へ行かせてもらい、第2回では川村さんが全国大会へ進みました。彼は凄くいい詩を作りますよ。

……松本さんの活動は詩作がメインですか？

もともと私は15、6年前から川柳を作っていました。雑誌などの公募や県内の大会などに応募するなどの活動をしていました。詩は、詩のボクシング三重大会に参加してから。三重大会は二年連続で行われて、その後、開催されていませんが、個人的に周りに声を掛けて、平成19年5月に朗読会を行いました。ちょっとしたライブみたいなものです。詩の朗読は、都会なら定期的にライブがあったり、飛び入り参加できる朗読会などが開催されたりしていますが、三重県にはなくて。でも、朗読する人は確実にいますし、誰かに聴いてもらいたい。それでもできれば、ちょっとしたステージなどがある場所でやりたいので、自分たちで開きました。お客さんはあまり呼べませんでしたけど、「次回はこんな工夫をしよう」とか、違うアイデアが出てきました。

……川柳から、詩へと活動の幅を広げた理由は？

私が「言葉」というものを大事にしている、こだわりがあるからだと思います。創作を始める時に、一番最初に取り入れたのが川柳だったわけですが、そこからいくらでも広がる可能性はあります。また逆に、川柳でなくてはいけない理由も、自分の中にはあります。詩を朗読しようと思ったのは、やはり面白そうだったからです。

……川柳の場合、人前で朗読することはないのでしょ？

コンテストなどで、選ばれた句を詠むことはありますが、私が読むことはほとんどありません。

……川柳と詩の朗読、相反する物のようにも感じますが。

私は川柳も、詩の朗読もその場で消えてしまうものだと思っています。正確に言えば、句集や同人誌に残すという形はありますが、私はその場、その場が勝負という気持ちで句を作っていますし、詩の朗読もその場で消えてしまう、潔さのようなものを感じています。

……紙に書き残すことが川柳の基本だと思っていました。

本来は、皆さん、書き残したいのだと思います。でも、私はそれがイヤというか、してはいけないと自分で決めています。残そうと思うと、残すために句を作ることになるように思うからです。

……川柳はどなたか先生に指導を受けたのですか？

自分が気に入った先生に付いて、指導を仰がれる方もいるでしょうけど、私にはそんな時間もありませんでしたし、自分で勉強するしかありませんでした。でも、結局は自分の感性ですから、川柳は、修行に近い部分がありますよ。

詩のボクシング

……詩のボクシングについて教えてください。

今から8年ぐらい前に始まったもので、舞台上にリングを作り、詩人が二人、青と赤コーナーに分かれて3分間、自作の詩を朗読しあいます。朗読後に7人のジャッジが、どちらの詩がより心に響いたかを判断し、勝負をつけます。県単位で大会を開けるところは開いて、代表者を選び、全国大会に進みます。そこで全国一を決めるのです。残念ですけど、三重県では四日市市で2回、大会が行われた後、途絶えています。ですから全国大会にも代表を送っていません。

……その三重県大会に松本さんは参加されていたのですか？

第1回の際は、私も含めて三人の代表者が、全国大会に進みました。その内の一人が初代全国チャンピオンになりました。

……松本さんは？

初戦で負けて、その時は半年くらい落ち込みました。自信もありましたし、自分が負けるとは思ってなかった(笑)。だから「もう二度と、こんなものには出ない」と思いました。どうして負けたのかって、ビデオも何度も見たし、審査員の顔ぶれを考えたりもして、すごいモヤモヤしてましたよ。

……その後、リベンジは？

昨年の奈良大会が近隣県からの参加もOKだったので、友人と連れだって参加したところ、優勝しまして、奈良県代表として全国大会に出てきました(笑)。二回戦まで進みましたから、とりあえず雪辱は果たしました。

……半年も落ち込むというのは凄いですね。

お客さんが見ている舞台の上で、「負け」とジャッジされるのは、やっぱりキツイです。もちろん、その判定は絶対ではなくて、審査員が変われば、判定も変わることもあるはずですけど。それでも、相当ショックですね。大人になってから、負けるってことはあまりないじゃないですか(笑)。自分を否定されたような気がするの、他の参加者も同じように思うみたい。文学と勝負は相容れないし、みんな納得できない(笑)。

……それでも、再び参加しようと思った理由は？

やっぱり面白いからでしょうね。舞台の上で詩を読むのは、たった3分のことですが大変です。丸裸にされるような感じとかのかな。それを見ているのがとても面白いですね。あと、ライブ感。上手に説明できませんが、とにかく会場が盛り上がります。「文学」からイメージされるような上品な感じではありません。さすがにヤジを飛ばす人はありませんが、声援などが参加者に送られます。参加者の応援で来ている人ばかりなのに、自分の身内以外の人にも応援しだしたりね。その場にいと、みんな大抵、興奮しますよ。惚れ込んだんだ

松本きりり さんに **聞く**

と、毎年、全国大会まで見に行きますね。私の知人だけでも3~4人はそんな人がいますよ。

……ご自分は丸裸にされる感覚は無いのですか？

私は以前、演劇をやっていたので、演じる意識で舞台上に立っています。心を裸にされた人を見るのは面白いけど、私が裸になることはできませんね(笑)。ただ、私のように舞台慣れしている人は、見ている面白くないようですよ。

今まで自分は、詩のボクシングという場を提供してもらってきたから、今度は誰かのために、場を作りたいという気持ちはずっとありました。

……衣装なども凝るのですか？

私の場合は、古着の着物を4~5枚、Tシャツとジーンズの上から羽織っています。イメージとしては、ちょっとアブない感じ(笑)。舞台芸術と言うと大げさですが、お客さんは耳で聞いて、目で見て、その場の雰囲気を感じて…と全体を見ています。詩の内容だけでは、勝負が決まりません。

……詩は事前に用意するのですか？

基本的には、事前に用意した詩を読みます。ただし、決勝戦だけは即興詩です。題をもらって、そこから3分間で詩を作って、終わらせないとイケません。声を出しながら、詩を考える感じ。黙ったり、詰まったりするとステージの緊張が変な感じになるので、意味がなくなっても言葉を出し続けます。

第3回詩のボクシング三重大大会始動!?

……三重県大会が最近、開かれていないのが残念です。

実は平成20年に、鈴鹿市で開催しようという動きがあります。まだ日程も、会場も決まっていませんが、私を中心となって、県内で文学活動をしている方たちに呼びかけています。参加者募集中ですから、興味のある方はぜひご参加ください。

……なぜ鈴鹿市で開催するのですか？

鈴鹿市は文学サークルも多いですし、市民講座の内容も文学系が多い。それに鈴鹿市文芸賞があり、分野も小説から川柳、短歌、俳句と幅広く募集するなど、文学が盛んな市だからですね。今回、大会を開くことで、「詩のボクシング」といえば、鈴鹿」という風に根ざしていきたいと思います。



平成19年奈良大会の様子。松本さんは見事、一位となり、全国大会に進みました。



「里山で遊ぼう」で行った、里山川柳。青空の下で作った作品を読み上げました。

……参加者は文学を愛好される方々ですか？

これまでに詩を作ったり、川柳、短歌、俳句などをたしなんでいる方にも声をかけますが、そういった方々は勝負を付けるという形式に抵抗があるかもしれませんね。今まで詩やポエムに興味のなかった方や音楽系、演劇系の方など、幅広い分野の方に参加してもらいたいと思っています。詩のボクシングは、今まで文学創作に興味の無かった人が参加したり、観客になったりすることで、「言葉って面白いな。力があるな」と感じてもらうためのイベントですから。

……松本さんも参加されますか？

私は今回、スタッフとして参加します。詩の朗読者とイベントスタッフを両立するのは無理だと思います。

……自分が参加するのではなく、運営側に回ろうと思ったのは？
今まで自分は、詩のボクシングという場を提供してもらってきたから、今度は誰かのために、場を作りたいという気持ちはずっとありました。私は詩のボクシングで新しい、面白い体験ができたし、発見もありました。今度はそれを、たくさんの人に知ってもらいたい。多分、人生や生活が豊かになると思います。

……これまでにイベントを運営されたことは？

昨年5月の朗読会を企画したくらいです。あと、知人から誘われて、平成11年11月に津市の里山で開催された「里山で遊ぼう」というイベントに川柳の先生として参加しました。里山をみんなで歩いて、風景や感じたことを川柳にして、青空の下で発表しました。

……創作とイベントの運営は、正反対の力が必要に思いますが。川柳などの創作活動は、つまるところ個人の作業です。どんどん内に入って行く活動。イベントは逆に、外へ向かっていかなければいけませんからね。様々な人と繋がって、活動を作っていくという市民活動的な動きは、私がこれまで知らなかった、できていなかった部分ですから、学んでいかなければいけませんね。

詩のボクシングとは。

ボクシングリングに見立てたステージ上で、2人の朗読ボクサーが交互に自作を朗読し、どちらの声と言葉がより観客=他者に届いたかをジャッジが判定する「声の言葉のスポーツ」、「声と言葉の格闘技」。

音声詩人の楠かつのりが、1997年10月に日本朗読ボクシング協会を発足し、「詩のボクシング」と銘打ち、2人の朗読ボクサーが交互に10ラウンド朗読して闘うタイトルマッチが行われたのが、その始まりです。

松本きりりさんはこの人を紹介します。

内藤かつさん

自分たちが楽しむのはもちろん、ボランティア精神を持ってコーラス活動に取り組んでいます。

おねがい

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までに送ってください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp 転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。

協賛

この市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行

第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

健全・安心・貢献
東海ろうきん

JAバンク
三重県下JA/JA三重信連

100 PRINTED WITH SOY INK

古紙100%、白度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。